

■ 新規事業

1 発達障害等相談センター運営事業

<内容>

本人と家族及びその支援者のための身近な相談窓口として、宇部市発達障害等相談センター「そらいろ」をシルバーふれあいセンター内に設置（宇部フロンティア大学に業務委託）

- ・発達、生活相談
- ・ご家族のサポート
- ・支援者育成

<実績（平成27年10月末現在）>

- 発達、生活相談
 - ・実績：398件
- 保護者サポート
 - ・保護者グループトーク、ミニ講座&トークセッションの開催
- 支援者育成
 - ・開所記念講演会：153名参加（普及啓発）
 - ・支援者からの相談：14件
 - ・講師として派遣：2件 福祉・教育職員研修会（うべつくし園）
小野小・中学校合同特別支援教育研修会
- 関係機関との連携
 - ・関係機関との連携した支援
 - ・関係機関の会議に参加
翼の会、宇部市発達障害児を支えるネットワーク協議会、子ども支援ネットワーク協議会実務者会議、宇部市障害者就労ネットワーク会議、障がい等地域支援ブロック会議、障害者ケア協議会

2 障害者安心緊急支援事業

<内容>

在宅の障害者（児）が、日常介護を行う者の疾病その他の理由で介護を受けることができなくなるなど緊急に支援が必要となった場合において、緊急ショートまたは緊急ヘルパーが利用できる体制を整備

<実績（平成27年10月末現在）>

- 緊急ショート
 - ・実績：1件、相談：2件
- 緊急ヘルパー
 - ・実績なし

3 ひきこもりの相談支援事業

＜内容＞

専門職によるひきこもりの相談支援、訪問支援、居場所の確保（ふらっとコミュニティに業務委託）

＜実績（平成 27 年 10 月末現在）＞

- ・相談支援：36 人
- ・家族教室：延べ 112 人が参加（開催回数：19 回）
- ・訪問支援：4 件

4 発達障害児等支援者サポート充実事業（保育園や学校）

発達障害等支援体制の整備と支援者の育成

（1）研修事業

通常の学級に在籍している発達障害等のある児童等を支援する保育士、幼稚園教諭、小中学校の教員・サポート教員など(特別支援教育支援員、生活指導員、支援ボランティア)を対象に、発達障害に関する専門的な研修会を実施して資質能力の向上を図る。

＜実績＞

- 前期…保育士、幼稚園、学童保育指導員等を対象

日時：7月7日～9月1日（7回コース） 18時30分～20時30分

場所：宇部フロンティア大学

参加者：延べ 323 名

＜今後の予定＞

- 後期…小中学校の教員、サポート教員等を対象

前期に準じて 12 月に実施の予定であり、年度末には、成果報告書を作成予定。

（2）支援体制に対する評価、助言事業

臨床心理士等が保育所、幼稚園、学校等へ訪問し、通常の学級に在籍している発達障害等のある児童等の生活状況や支援体制全般を把握し、発達障害等のある児童等への支援体制への評価及び助言を行う。

＜実績＞

小学校 4 校（各 2 名）・保育所 1 園(1 人)・幼稚園 1 園(1 人)を選定し、発達障害等のある児童等の生活状況や支援体制を把握し、必要に応じ助言を行っている。

＜今後の予定＞

引き続き、訪問による状況把握を行い、必要に応じ助言を行う予定であり、年度末には、成果報告書作成予定。

■拡充事業

1 障害者の理解促進支援事業

障害者への理解を促進するため、小・中学校や地域での講演会等を拡大して実施。

<内容>

- ・市内の小、中学校で、障害者理解に関する講演会やふれあい活動を実施
- ・講演会や授業の事前、事後指導の実施
- ・地域で、障害者の理解を促進する講演会やふれあい活動を実施

<実績>

- ・小学校：9件（平成27年11月17日現在）
※地域においては秋以降、校区において障害者理解講演会が開催される。
自治会等での障害者理解の勉強会の実施（障害者理解DVD貸出件数40件）

2 福祉タクシー券の充実

<内容>

自力で移動が困難な難病の患者であり、治療等のため頻繁に通院が必要な方に、割り増して福祉タクシー券を配布

<実績>

- ・2件（平成27年11月17日現在）

3 ワークステーションでの視覚障害者の就労体験の実施

別紙1のとおり